



東中だより



No. 18 令和6年3月7日

伊丹市立東中学校長  
多田英稔

## 第76回卒業証書授与式を 迎えて



### 「ご卒業おめでとうございます」

3年生のみなさんにとって、卒業式を迎えるということは、義務教育という大きな山を1つ越えることとなります。新しい門出にあたり「おめでとう」の言葉をおくります。みなさん「一期一会」（いちごいちえ）という言葉を知っていますね。「一期一会」とは、「一生に一度だけの機会」という意味の言葉です。一期は「生まれてから亡くなるまでの間」を意味し、一会は「一度の出会い」を表しています。そのため、初めて会った人や何度か会っている人に対して、この出会いは一生に一度きりの大切なものという意味で使われます。

まさに、人生は「一期一会」です。毎日顔を合わせる相手でも、その日その時に一緒に過ごす時間は一生に一度きりです。二度と同じ日や時間は戻ってきません。これからは、初めて会う人だけに限らず、毎日会う人、時々会う人など、すべての人に対して今日が最後だと思い、その時の瞬間、瞬間を楽しむ、大切にしていこうと心掛けてほしいと思います。そして、みなさんはこれから今まで以上にいろいろな人々と出会うことでしょう。どんな出会いも、ひとつとして無駄なものはありません。「人」を大切にできる、出会いに「感謝」できる、そんな大人になってください。

また、これからの人生では、大変な時が何度も訪れるでしょう。大変な時は「大」きく「変」われる時です。未来のことは誰にもわかりません。でも、確かなことがあります。それは「今」の行動が「未来」の可能性を広げることです。過去の様々なことが積み重なって今があるのです。そして「今」の積み重ねが「未来」に繋がっていくのです。自分の気持ち一つで夢や希望を広げていくことができるのです。ですから、「夢」や「希望」を持ち、大変な時も「大」きく「変」われる時だと信じて、決してあきらめず、今日という瞬間を大切にしてほしいと願っています。そして、予測不能で様々なことが多様化していく未来を、心身ともにたくましく生きてほしいと願っています。

【松下幸之助 人生の言葉】より 人に相談する

ぼくのこれまでの人生は実にたくさんの人に相談しつつの歩みであったということがいえるように思います。

ぼくの場合、学問がありませんでしたし、意識して相談をしたというより、そうせざるを得なかったわけですが、悩みや不安の対処法としては、他人に相談するということが、きわめて効果の大きい方法の一つではないかと思うのです。

※松下幸之助…前松下電器産業（ナショナル）の創業者。現社名はパナソニック）

## 3年生保護者の皆様へ 『感謝』

本年度も、残すところあと1日となりました。3年生にとって、人生でたった一度の思い出となる東中学校の第76回卒業証書授与式が立派な式になりますよう、最後まで支え育ててまいります。

保護者の皆様にも、最後までご協力をいただきますよう、よろしくお願いたします。また、3年間本校の教育にご理解とご協力、ご支援を賜り心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

伊丹市立東中学校 校長 多田 英稔

## 1・2年生の給食に関するお知らせ

3月22日(金)で本年度の給食が最終となります。修了式の25日(月)は給食がありませんので、ご注意ください。なお、25日は一斉下校の後、部活動については再登校となります。